

だれもが住みたくなる

福祉滋賀のまちづくりを進めるために

ユニバーサルデザイン って何ですか?

だれでも

どんな状態の
時でも

建物、製品、サービスや
社会のしくみなどが
利用しやすいように
することが

ユニバーサルデザインです

だれにとっても簡単
わかりやすい! 使いやすい!

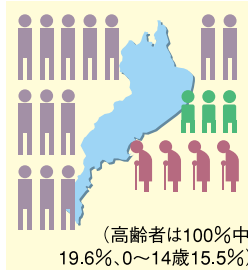
だれにとっても安全
間違えないようなくみ! 環境にもよく!

だれにとっても快適
気持ちよく使える!



少子高齢化が進んでいます

平成22年には、およそ5人に1人が65歳以上の人になると見込まれています
子どもの数は減っていき、人口のうち高齢者の占める割合が増加します



だれもが乗降しやすい段差のない低床バス

国際化が進んでいます

滋賀県内の、韓国・朝鮮、中南米、中国などの出身の在住外国人は2万5千人を超えています
滋賀県を訪れる外国人観光客は、年間およそ8万人にのぼります



外国人と共生し、また多くの外国人が訪れる滋賀県

お互いに人権を尊重し合う社会となることが必要です

障害のあるなし、年齢、性別などにかかわらず、すべての人があるがままの姿で同等に社会生活をおくり、自立し、社会活動に参加できることが必要です



交流車いすバスケット

環境改善にみんなが取り組む必要があります

日常生活や事業活動のあらゆる場面で環境負荷の原因になっており、すべての人が、その原因をつくっている者であるとともに、その影響を受ける者にもなっています



学習船「うみのこ」で水質チェックする子どもたち

社会には、様々な人が生活しています。その多様な能力を最大限に生かしていけるよう、すべての人が、またどのような状態の時でも利用可能なように、はじめからみんなで考えて計画し、実施する、そしてその後もさらに良いものに変えていこうという「ユニバーサルデザイン」。この考え方が、これからだれもが、あるがままの姿で同等に暮らしていくための解決策につながります！

これまでの尺度を見直し、建物、製品、サービスや社会システムなどにユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、いろんな人の利用をはじめから想定し、だれにとっても利用しやすくすることが必要です



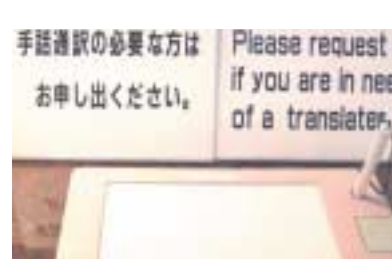
文字が大きく、色分けが見やすいリモコン 玄関までスロープにし、手すりを設置した住宅

同じ地域社会の一員として、在住外国人が困っていることに対する配慮が必要です
国際的な視野で社会環境作りを進めていく必要があります



駅利用者のための2か国語表示 多言語による非常時対応パンフレット

一人ひとりが、かけがえのない人間として、互いに尊重し、思いやる社会を築いていく必要があります



筆談、手話通訳、通訳案内のある受付

今日の環境問題を解決し、世代を越えて良好な環境からの恵みを楽しむことができるようにする必要があります



菜の花を資源循環の地域づくりに活用

湖岸のヨシ刈りをする中学生

「淡海ユニバーサルデザイン行動指針」の基本目標

すべての人が個人として互いに尊重し合い、等しく社会に参加し、家庭や地域社会でいきいきと生活できるユニバーサルデザイン社会をみんなで実現

「**淡海ユニバーサルデザイン行動指針**」の概要

すべての人が利用可能なようにはじめから考えて計画し、実施するという「ユニバーサルデザイン」。

滋賀県では、だれもが一人の人間として尊重され、安心して暮らせる社会の実現を目指して、ユニバーサルデザインの考え方が様々な場面で広まり、みんなの参加と協働による一体となった取組が主体的に進んでいくよう、この指針を作りました。「だれもが住みたくなる福祉滋賀のまちづくり条例」に基づいて定めたものです。

基本的な考え方や方向性を示すとともに、県民や事業者、民間団体の方々においても、共通理解と連携を期待しています。読んでいただいて、あなたのできることから、なにか1つからでも、はじめてみてください！

みんなで取り組もう！これから目指す方向

1 だれもが取り組むユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの考え方の理解を広め、推進する人を育てます

1 継続的な理解促進

- ・情報や製品に触れる機会を増やし、様々な手段や場でユニバーサルデザインへの理解を広めます
- ・利用者の声が反映される機会や参画の仕組みから、常に改良を続ける取組に努めます



ユニバーサルデザイン製品の体験展示



地域の施設について話し合い

2 学びの場づくり、ひとづくり

- ・ユニバーサルデザインについて、生涯を通じて学校や地域、職場などで学習する環境づくりや、意識づくりを進めます
- ・ユニバーサルデザインを推進するリーダー、ボランティアなどの育成や活動に参画します



小学校での福祉教育



点字ブロック敷設状況調査



研修会に参加する事業者



団体によるまちあるき調査

2

だれもが暮らしやすいまちづくり

利用者の視点に立った生活環境の整備や、機能の維持を進めます

1 利用しやすい施設

- ・整備の計画段階からだれもがより利用しやすくなるよう検討し、完成後も維持し、改良していきます
- ・安全・安心でやすらぎのあるまちづくりに向け、憩いの空間や経路なども含めて連続的・一体的な整備を図ります



エレベーター、階段、エスカレーターが併設設置された駅



シャワーつきオストメイト対応トイレ

2 移動しやすいまち

- ・安全で快適に移動できるよう道路や旅客施設などを整備していきます
- ・だれもが気軽に外出できるような計画的なまちづくり、施設や表示などの充実を図ります



車輪等が挟まらない
すき間の狭い溝ふた



点字ブロックと色分けした段差のない歩道

3 快適に過ごせる住まい

- ・相談窓口のPRや、住宅の作り手に住まいに関するユニバーサルデザイン化を啓発していきます



段差がなく、手すりの付いた浴室



ボタンと字が大きく、色分けされたスイッチ

3

3 だれもが使いやすいものづくり

使い勝手の良い、わかりやすく使いやすい製品開発や普及に努めます

1 製品開発

- ・身体的な特性や障害に関わりなく、だれもが使いやすいものづくりの開発と普及に努めます
- ・企業や大学、行政などの交流、企業の異業種間交流を進めます
- ・個々の利用者の状態や生活環境に応じた福祉用具などを開発します



県特産物のユニバーサルデザイン商品の開発研究



改良した福祉用具などの展示

2 製品の利用促進

- ・ユニバーサルデザイン製品の情報を提供します
- ・率先して購入、利用し、供給を促進します



容器に刻みがあって
リンスと区別できるシャンプー



パネルや現物の展示、体験による情報提供

連携と協働によるユニバーサルデザインの推進

けん 県はこんなことを
やっています!

- ・意見、情報の交換の機会を設けて、より多くの方の意見を反映させていきます
- ・情報収集や、広報、フォーラム開催などによる情報提供、普及活動をしていきます
- ・様々な学習の場を通じてユニバーサルデザインを学ぶ機会を提供、意識啓発していきます など

し 市町は
こんなことを!

- ・まちづくりや教育など様々な分野でユニバーサルデザインの施策の展開
- ・まちづくりに関する計画の策定
- ・学習の場でのユニバーサルデザインについて知り、学ぶ機会の提供、啓発 など

4

4 だれもが満足できるサービス・情報の提供

必要な情報はわかりやすく簡単に手に入り、だれでも気持ちよくもてなされてサービスが利用できるように…

1 「もてなし」の心のこもったサービスの提供

- ・利用者満足意識をもち、ニーズに的確に応えたサービスの提供を図ります
- ・利用者の特性や違いに対応した手段をとり、多様できめ細かなサービスの提供に努めます



点字表示、インターホン、人が通ると感知するセンサー付き案内図



高さの違う電話台設置

2 わかりやすい情報の提供

- ・求められている情報を、様々な媒体で、表現や表示を工夫してわかりやすく提供します
- ・インターネットなどのITの活用等により、必要な情報を迅速、的確に得られる環境整備を進めます



要約筆記
(話の内容を要約してスクリーンに投影)



英語や絵文字表記のある券売機

市民のみなさんは
しなことを!

- ・お互いの違いを理解し、相手の立場に立って考える思いやり
- ・施設、製品、サービスなどの使いやすさを点検するなど、身近なこと、できることから主体的に行動
- ・ユニバーサルデザインの取組に意見、評価、支持を行う/NPOやボランティア活動に積極的に参加 など

業者のみなさんは
しなことを!

- ・利用者の視点にたった施設整備、製品開発、サービスの提供、また普及啓発やリーダー育成
- ・企画立案の段階から、またできあがった後も、多くの利用者から意見を聴き、反映させる仕組みづくり
- ・利用者、他事業者、民間団体、大学、行政などと交流・連携してユニバーサルデザインの推進活動 など



民間団体は
しなことを!

- ・ユニバーサルデザインの普及、行政や事業者などとの連携、ネットワーク化
- ・他での取組に対しての積極的な協力
- ・より良い取組への提案や、みずから実践すること など

ユニバーサルデザインの 基本姿勢

●「はじめから」の発想●

●すべての人の利用を想定

- あの人、こうしたら喜ぶだろうなあ…
- あなたのアイデアを聞かせてください!



様々な人の利用を「はじめから」想定する

●環境との共生

- 先々のことを考えて作ろう!
- こうしておけば維持管理が簡単・安い!



「はじめから」考えて、未来を見通した環境配慮

●「終わりなき」取組●

●過程と継続の重視

- 定期的に点検チェックしてみよう!
- お客さんからこんな事聞いたんだけど、何とかできないかな?



できあがった後も、常に改良を加え続けていく

●参加と協働による推進

- あの人に意見を聴いてみよう!
- みんなで集まって相談しよう!



様々な人の意見を聴き、
ともに考え、作り上げていく過程や姿勢が大切

思い切って声をかけてみようかな?

「何かお手伝いできることはありますか？」

「ありがとう、お願いします」

あなたの心からユニバーサルデザイン

- 困っている人を見かけたら、あなたから声をかけてみましょう!
- 人によって、困ることは様々です。「どのようにお手伝いしましょうか?」と聞いてみましょう!
- だれもが、いろんな状態になる可能性があります。さりげなく、自然に助け合えると嬉しいですね!
- 日頃から気軽にボランティアなどに参加し、いろんな体験をしてみましょう! 思わぬ力になります!